【本校において目指す生徒像】

- ①学びに対する高い関心・意欲をもち、積極的・主体的に行動できる生徒
- ②広い視野をもち、それぞれの志望進路に応じた学力を有する生徒
- ③社会に対する関心をもち、高い規範意識と他者と協働する力を身に付けた生徒

【学習指導方針（スクールポリシー）】

（１）地域との連携事業を積極的に取り入れ、学びに対する興味・関心を高めるとともに積極性と社会性の育成を図る。

- ・可能な限り授業にゲストティーチャーやチームによるフィールドワーク等を取り入れ、地域や社会に対する理解を深め、視野を広げさせるとともに、身の回りの事象から原理的・普遍的な学びへつなげる楽しさと、協働的な学びのよさを体験させる。
- ・学外の方々に対して発表する機会を設け、一般社会の基準に耐えうる発表内容を追求させるとともに、社会に通用するマナーや責任ある態度を身に付けさせる。

（２）主体的・対話的で深い学びやICTの効果的な活用を推進し、生徒が主体となる場面を多く設けることで、主体的な学習態度と協働的な資質・能力の育成を図る。

- ・生徒に学習の見通しと課題に取り組む意欲を持たせるための適切な「問い」を準備し、主体的・対話的で深い学びと生徒によるICT活用を推進することによって、生徒の主体的な思考を促し、表現する力の基礎を確立する。
- ・グループワーク等の多様な学習形態を取り入れるとともに、説明や振り返りの時間を設け、思考力や表現力、自己評価力、コミュニケーション力を育成する。

（３）習熟度別授業および家庭学習とリンクさせた授業を展開し、確かな学力の育成を図る。

- ・家庭での予習・復習を前提とした授業を展開し、学習習慣を確立するとともに、基礎学力の定着を図る。
- ・単元毎に到達度に応じた応用問題を用意し、個々の生徒の学力向上を図る。